



責任者からのメッセージ

小児科
教授 盛武 浩



「なぜ小児科を選んだのですか？」とよく質問を受けます。私の場合、“小児医療は「曙の医学」である”と学生実習中に先輩小児科医師がおっ

しゃった素敵なフレーズが胸に突き刺さり、小児科医になることを決めました。小児医療は、根治を目指し全力投球でき、その結果、病気を克服した子ども達が成人となり、少子化で苦しむ日本の救世主として社会へ羽ばたく姿をみられる喜びを実感でき、まさに「曙の医学」です。また、細分化された現代医療の中で「全身を診る」という学問的にも非常に満足度が高い分野です。

共に宮崎の小児医療を担ってくれる、志の高い若い先生をお待ちしています。

プログラムの特徴

本プログラムは、宮崎大学医学部附属病院、県立宮崎病院、県立延岡病院、県立日南病院、都城市郡医師会病院、国立病院機構都城医療センターなどで研修し、小児科医として必要な健診などの一次医療から三次医療まで幅広い知識と診療技能を偏りなく習得することが可能です。異なるタイプの研修施設で種々の診療を経験し、指導・教育を受けることで、小児科専門医取得のための到達度を十分に満たすことができます。また、大学病院には、7つの専門グループ(血液・腫瘍、免疫・アレルギー、内分泌・代謝、神経・発達、腎・泌尿器、循環器、新生児)があり、それぞれの専門分野の知識や技術を活かし医療を提供しています。ほぼ全ての専門領域があることで、1人の患者さんに対し複数のグループで協力しながら適切な医療提供体制が構築されていることは、自慢できる特徴といえます。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	盛武 浩 教授、他13名	小児医としてヒトの成長と発達をみまもり援助するという心構えを確立する。小児科学のすべての領域をくまなく経験し、小児科医として必須の知識と診療技能を習得する。
連携施設	県立宮崎病院、県立日南病院、都城市郡医師会病院、国立病院機構 都城医療センター、国立病院機構 宮崎病院		
関連施設	県立延岡病院、国立病院機構 宮崎東病院、都農町国民健康保険病院、宮崎市総合発達支援センター、愛生会日南病院、小林市立病院、高千穂町国民健康保険病院、京都府立医科大学病院、京都市立病院		

取得可能な専門医資格および技能

小児科医として必要な小児の診察、採血や腰椎穿刺、骨髄穿刺などの一般的な手技を取得するとともに、地域の一般病院の研修では、予防接種や乳児健康診査などの方法を学びます。さらに、各種専門領域では、

心臓超音波検査、心臓カテーテル検査、腎泌尿器超音波検査、腎生検、脳波検査、内分泌負荷試験、骨髄検査の評価、食物負荷試験などについて学び技能を習得できます。

専門医取得までのタイムスケジュール

専攻医登録後、1年目は大学病院で小児科医としての基礎的な考え方や技術を習得し、2年目からは、それぞれの研修病院を概ね1年ずつ研修することで、3年間の研修終了時には、小児科専門医の受験に必要な小児の主要な症候や新生児から各種専門領域の疾患を経験することができます。専門医受験には論文投稿が必要ですが、研修中に経験した症例をもとに指導医の指導のもと論文を作成することができます。



専攻医登録後、それぞれの研修病院を半年から1年間研修することで、小児の主要な症候や新生児から各種専門領域の疾患を経験し、3年経過したのちに小児科専門医試験を受験することができます。

プログラム達成目標

専攻医は3年間の研修によって、「子どもの総合診療医」「育児・健康支援者」「子どもの代弁者」「学識・研究者」「医療のプロフェッショナル」の5つの資質を備えた小児科専門医になることを目指します。そのため

に、それぞれの研修施設で担当医として、小児の急性疾患、慢性疾患、地域医療および乳児健康診査、予防接種などの小児保健・社会医学の研修などすべての領域について研修を行います。

主要症例名と実績数

肺炎や気管支炎、急性腸炎などの小児の一般的な疾病に加え、経験できる各種専門領域の主要な症例と年間の実績数は右の通りです。

血液・腫瘍領域	白血病(6人)、悪性リンパ腫(2人)、固形腫瘍(5人)など
神経・筋領域	てんかん(30人)、脳炎・脳症(10人)、発達障害(60人)など
循環器領域	先天性心疾患(80人)、心筋疾患(10人)、不整脈(5人)、難治性川崎病(5人)など
腎・泌尿器領域	ネフローゼ症候群(10人)、慢性糸球体腎炎(20人)、慢性腎不全(2人)、急性腎機能障害(5人)、先天性腎尿路異常(20人)など
免疫・膠原病・アレルギー領域	免疫不全症(2人)、膠原病(5人)、アレルギー(10人)など
内分泌・代謝領域	低身長(30人)、糖尿病(5人)、甲状腺疾患(10人)など
新生児領域(NICU)	超低出生体重児(30人)、人工呼吸器管理(60人)、新生児手術(40人)など

週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時間	月	火	水	木	金	土	日
～ 8:30	受持患者情報の把握				受持患者情報の把握		
8:30～ 9:00	抄読会・リサーチ報告	入退院カンファレンス	学生発表	休み	入退院カンファレンス	グループ 回診	休み
9:00～ 9:30	グループカンファレンス グループ回診				グループカンファ／回診	病 棟	
9:30～12:00	病 棟	病 棟	病 棟・外 来		病 棟		
12:00～13:00					薬理セミナー（不定期）		
13:00～17:30	病棟 学生・初期研修医の指導 血液腫瘍カンファ 腎泌尿器カンファ	病棟 学生・初期研修医の指導 全体カンファおよび 総回診	病棟 学生・初期研修医の指導 代謝・内分泌カンファ 神経カンファ	休み	病棟 学生・初期研修医の指導	休み	休み
17:00～18:30	患者申し送り				患者申し送り		
17:00～18:30	専攻医勉強会（2／月）				ふりかえり（1／月）		合同勉強会 （年3回）

※ 小児泌尿器合同カンファ(1／月)、循環器外科合同カンファ(1～2／月)を月曜日に開催

指導医からのメッセージ



准教授 此元 隆雄

宮崎大学小児科は、宮崎県全域へ医師の派遣を行いそれぞれの施設と連携をとりながら、疾病を持つ子どもたちの健康のため、小児医療の充実と発展のために日々頑張っています。私たちのプログラムでは、専攻医は中堅医師から直接指導を受け、さらに各専門分野の専門医・指導医とともに診断・治療を行うことで最新の知見を学ぶことができます。女性医師も多数在籍しており、女性医師の様々なライフプランを医局全体で応援しています。小児医療に対する情熱をお持ちの方は、出身地、出身大学、男女問わず、いつでもご連絡ください。

先輩からのメッセージ



専攻医 宮本 拓

私はもともと救急を志して研修していましたが、子どもと向き合う医療に魅力を感じ、小児科へ転向しました。新たな分野への挑戦に不安もありましたが、医局の先生方が温かく迎え入れてくださり、安心して学びを深めることができています。小児科は、成長発達を支えながら家族とも関わる奥深い診療科であり、大きなやりがいを感じています。一緒に宮崎の子供たちのために頑張ることができれば嬉しく思います。



医局長 木許 恭宏

小児科の推しポイントはなんといってもこどもと楽しい時間を過ごせることです。外来の子はもちろんですが、入院している子でも比較的元気なこどももいるため、日常にこどもとの楽しい時間があふれています。医師であればどの診療科に進んでも大変なことがありますが、小児科の場合はそんなときでもこどもが元気をくれます。こどもが好きな人にはとてもお勧めの診療科です。また、小児科にはその中にたくさんの専門領域があり、大学で専門性を追求していくことができますが、市中病院で小児科全般を診続けることもでき、将来の自由度が高いのも魅力のひとつです。宮崎のこども達の未来のために一緒に楽しく小児科医をやりましょう！



専攻医 三谷 修史

小児科は扱う疾患が幅広く、覚えることも多い診療科です。その中で、日常診療では先輩の先生方に丁寧にフォローしていただき、学会発表についても熱心に指導していただけるため、安心して学ぶことができます。採血、骨髄穿刺、腰椎穿刺、エコー、PICC挿入など、さまざまな手技を経験できるのも魅力です。子どもたちの笑顔や元気になっていく姿には、日々たくさんさんの力と癒しをもらっています。そうした経験を重ねる中で、自分自身も少しずつ成長できていると感じており、小児科のやりがいを実感しています。子どもたちの未来を守っていく仲間として、ぜひ一緒に頑張りたいです。

お問い合わせ先

担当：此元 隆雄

T E L：0985-85-0989

F A X：0985-85-2403

e-mail：konomoto@med.miyazaki-u.ac.jp

小児科HP

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/pediatrics/



皮膚科専門研修プログラム

皮膚を通して
全身を診ることのできる医師を育てる

募集定員
8名

研修期間
5年



責任者からのメッセージ

教授 緒方 大



皮膚科は新生児から高齢者まで幅広い年齢層の患者さんを対象とし、アトピー性皮膚炎や薬疹など薬物療法が主体の疾患から、熱傷や皮膚癌などの外科的治療が必要なものまで守備範囲とすることが大きな魅力です。数多くの症例を経験することで、患者さんの病巣を的確に表現できるようになり、そしてこのことは臨床診断や病態の把握に役立ちます。また皮膚科ではマクロ(臨床)とミクロ(皮膚病理)を対比できるのが強みです。病理が苦手という方もいらっしゃるかもしれませんが、皮膚病理は確定診断になる事はもちろん、臨床像や病態と密接に関係しています。私たちとマクロとミクロを診る目を養って頂きたいと思います。私たちとここ宮崎で皮膚科学を極めたい仲間を歓迎いたします。

プログラムの特徴

外来患者数は1日平均50人以上、疾患も先天性皮膚疾患、炎症性皮膚疾患、皮膚悪性腫瘍など多岐にわたります。入院患者は重症薬疹、熱傷、皮膚癌など重症患者も多く、豊富な経験を積むことができるのが特徴です。また年間手術件数も多く全身麻酔の症例だけで約300件の多くの手術を経験することができます。内科系から外科系まで幅広く知識・技術を習得することができ、また研究面においては、皮膚がん、アレルギー疾患などに関する臨床研究や臨床試験を複数実施しており、南九州に多いとされる成人T細胞性白血病／リンパ腫の進行に関連する遺伝子変異の検索なども行っています。地域医療に貢献できる研究や診察を目指しています。

連携施設名等

	施設名	指導医	1日平均外来患者数	1日平均入院患者数	年間手術件数
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	緒方 大 教授、他9名	56.3名	13.2名	243(入院)例
連携施設	県立宮崎病院、県立延岡病院、県立日南病院、千代田病院、古賀総合病院、藤元総合病院、順天堂大学医学部附属 順天堂医院、九州大学病院				
準連携施設	なんごう病院、国立健康保険西米良診療所、高千穂町国民健康保険病院、椎葉村国民健康保険病院、美郷町国民健康保険西郷病院				

※プログラムに書かれている施設への研修は、必ずしも全ての施設で研修できるということではありません。

取得可能な専門医資格および技能

- 機構認定皮膚科専門医
- 日本皮膚科学会認定皮膚悪性腫瘍指導専門医
- 日本皮膚科学会認定美容皮膚科・レーザー指導専門医

専門医取得までのタイムスケジュール

基幹：研修基幹施設での研修

連携：研修連携施設での研修 ⇒ 県立宮崎病院(宮崎市)、県立延岡病院(延岡市)、県立日南病院(日南市)、古賀総合病院(宮崎市)、千代田病院(日向市)、藤元総合病院(都城市)

大学院(研究)：基礎医学の講座などで研究に専念する期間(2年間まで)

大学院(臨床)：皮膚科を研修しながら研究をする期間

コース	研修1年目	研修2年目	研修3年目	研修4年目	研修5年目	
A 基本コース	基幹	基幹	連携	連携	基幹	受験申請 ↓ 専門医試験 ↓ 専門医 ↓ サブスペシャリティ修得
B 連携施設中心コース	基幹	連携	連携	連携	基幹	
C 社会人大学院コース	基幹	基幹 (社会人大学院)	連携 (社会人大学院)	基幹 (社会人大学院)	基幹 (社会人大学院)	
D 大学院在学中に受験するコース	基幹	連携	基幹	大学院 (研究)	大学院 (研究)	

※産休・育休の期間は6か月を上限に研修期間として認められます。

※1人医長の期間は最大2年まで研修期間として認められます。

※大学院生として皮膚科以外の臨床講座あるいは基礎系講座あるいは研究所等にて皮膚科領域に関連する研究に従事する場合は、2年間に限りに研修期間と認められます。

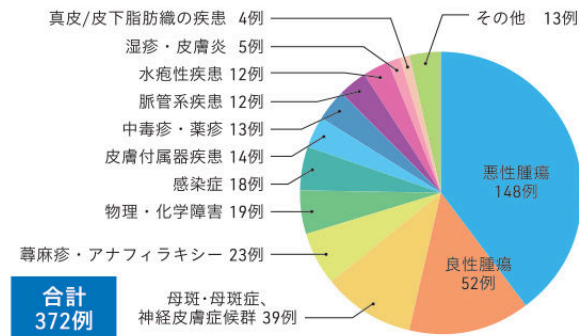
プログラム達成目標

皮膚科専門医として信頼され安全で標準的な医療を国民に提供できる十分な知識と技術を獲得できることを目標とし、医師としての全般的な基本能力を基盤に、皮膚疾患の高度な専門的知識・治療技能を修得し、関連領域に関する広い視野をもって診療を行うことが出来るようになることを目標とします。

主要症例名と実績数(令和7年度)

昨年度の実績数は以下のとおりです。

疾患別延べ入院患者数



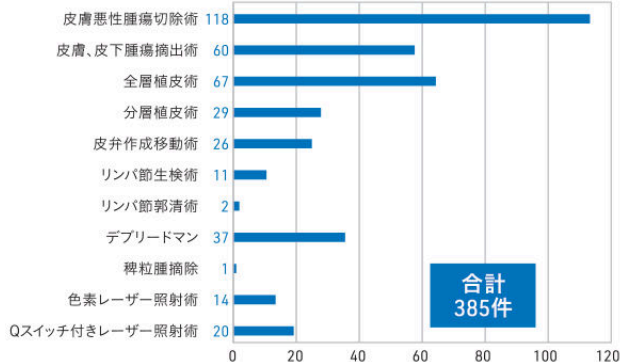
週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

月曜は終日カンファレンスを行います。専攻医は自身の受け持ち入院患者について1週間のウィークリーサマリーのプレゼンテーションを行ってもらいます。また皮膚病理検討会や、外来スライドカンファレンスも行っております。外来患者のカンファレンスにも参加することで、稀な疾患からコモンな疾患まで幅広く知識を深めることが出来るようなカンファレンスを行うことを目標としています。抄読会も行い、英語論文に慣れ親しんでもらうことを目的としています。水曜金曜の

時間	月	火	水	木	金	土
AM	病棟・回診	手術及び病棟	外 来	休 診	外 来	手術・病棟等 (シフト制)
PM	カンファレンス・病理・抄読会等	手術及び病棟	外 来	休 診	病棟・回診	



手術件数(令和7年)



外来日では教授陪席に従事します。その他指導医のもと、皮膚科的検査も積極的に行ってもらいます。病棟診療についてはチーム医療制度を導入し、受け持ち患者の診察・検査・治療・手術手技について、習得を目指します。その他日本皮膚科学会主催の必須講習会を受講し、年に2回以上筆頭演者として学会発表を行ってもらい、年に1編以上筆頭筆者で論文を作成していただくことを目標にしています。

指導医からのメッセージ

講師 西川 陽太郎



皮膚科の特徴の一つは症状が目に見える事にあります。肉眼で確認できる症状から病態を考える奥の深い学問であり、臨床では治療の効果が医患者、患者ともに実感しやすい点も特徴的です。皮膚科は疾患領域、スペシャリティが多岐にわたる点も特徴的で、当プログラムでは豊富な手術症例に携われるだけでなく、炎症性疾患やアレルギー性疾患も幅広く経験することができます。私自身は皮膚病理に興味を持って研修を開始しましたが、研修中にアトピー性皮膚炎の研究を行い、現在はアレルギー性疾患を中心に日々の診療に臨んでいます。手術を含め、幅広く皮膚科を学びたい方、宮崎の医療への熱い思いのある方、皆様の研修参加をお待ちしております。

先輩からのメッセージ

助教 福良 拓也



入局5年目です。病棟と外来といずれにも参加しております。手術については症例数も多く、頭から足先までどこにでも、また、何歳に対してもメスをいれることがあります。こういったリスクが伴うのか、どう工夫すれば綺麗に治せるのかなど、手術の注意点や工夫が全く同じということはひとつも無く、症例ごとに悩み考えることはすごく楽しいです。外来ではもちろん塗り薬をよく使いますが、疾患によっては飲み薬や注射もいくつか適応となり、光線療法やレーザー治療が選択肢のこともあります。各症例に応じて背景も考慮してカスタマイズした治療を考えることが楽しいこの頃です。皮膚科は想像よりもかなりおもしろいです。是非研修お待ちしております。

お問い合わせ先

T E L : 0985-85-2967

F A X : 0985-85-6597

担 当 : 西川 陽太郎

e-mail : derma@med.miyazaki-u.ac.jp

皮膚科 HP

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/derma/



精神科専門研修プログラム

多様性に富んだ心と人生を支える精神科医を目指してみませんか？

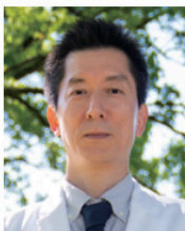
募集定員
10名

研修期間
3年



責任者からのメッセージ

精神科
教授 平野 羊嗣



目まぐるしく変化する現代社会のニーズに応えるべく、精神科医の活躍の場は益々増えています。患者さんの悩みや人生に寄り添い、多様性に富んだ人間の心(脳)を診ることができる、一流の精神科医を育てることが我々の最大のミッションです。そのために、当科は個々人の多様性と自由闊達な雰囲気大切にしています。当科のプログラムは、指導体制が充実した多数の高度な専門医療機関と連携しながら、常にバランスのいい研修ができるように心がけています。また、精神科医として欠かせない科学的な視点を養うためにも、専門医を目指しながら研究に従事できる環境も整えています。我々と一緒に、多様性に富んだ心と人生そのものを支える精神科医を目指してみませんか？

プログラムの特徴

県内の多くの精神科医療機関と連携したプログラムです。基幹施設の宮崎大学医学部附属病院精神科では、救急部と連携した精神科救急、身体合併症、難治性精神疾患、器質症状性精神障害、緩和ケア、リエゾンなど学びます。県立宮崎病院、児童思春期の専門医療機関、認知症疾患医療センター、単科精神科病院などをローテートして研鑽を積み、精神保健指定医と専門医を並行して取得することが可能です。また、大学院進学プログラムもあります。平野羊嗣教授による新体制で、これまで積み重ねてきた知見に新たな風が加わり、より充実したプログラムをお約束します。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	平野 羊嗣 教授、他7名	統合失調症、気分障害、神経症性障害、認知症。精神科救急、思春期症例などの治療、さらに身体合併症治療、コンサルテーション・リエゾンなど精神科臨床を幅広く経験できる。
連携施設	県立宮崎病院精神医療センター、国立病院機構 宮崎東病院、井上病院、協和病院、高宮病院、大悟病院、野崎病院、宮崎若久病院、内村病院、県南病院、鯉島病院、都城新生病院、田中病院、谷口病院、永田病院、吉田病院、延岡養養園、若草病院、九州大学病院		

取得可能な専門医資格および技能

日本精神神経学会専門医・精神保健指定医を取得後は、精神科医としての経験を積みながら、サブスペシャリティを深めることを推奨します。大学病院精神科では、以下の専門医などが取得できます。

- 日本老年精神医学会認定専門医
- 精神科救急認定医
- 日本緩和医療学会専門医
- 一般病院連携精神医学専門医
- 子どものこころ専門医

専門医取得までのタイムスケジュール

1年目は大学病院において、精神科の基礎知識習得のため新たに導入した精神科クルズスを皮切りに、主要な精神疾患の診断や治療、さらには身体的・器質的疾患の除外など、精神科医として必要な幅広いスキルと論理的考察を身につけます。2年目以降は各自の希望に沿ってプランを組んでいきます。精神保健指定医や専門医として必要な症例も3年間で十分経験することができます。学会発表や論文、症例報告の指導を通じ、科学的な視点で精神疾患を診る姿勢を学んで頂きます。また、リサーチマインドの涵養のため、専門医取得と併行して博士課程で学位を取得することも可能です。



ダブル取得！
●精神科専門医
●精神保健指定医



プログラム達成目標

1年目は指導医と一緒に、主要な精神疾患を受け持ち、面接技法、診断と治療計画、薬物療法及び精神療法の基本を学ぶ。身体疾患に伴う様々な精神的問題に対処すべく、リエゾン精神医学も経験する。症例カンファやセミナーに参加し、学会や研究会で発表する。2年目は指導医の指導のもと、面接技法、診断、治療計画の能力を高める。薬物療法の知識を深め、認知療法など精神療法の基本的な考え方を学ぶ。また、症例報告などの執筆や学会発表の指導を受ける。3年目は指導医から自立して診療できるようにする。各種精神療法を上級者の指導の下に実践し、心理社会的療法、精神科リハビリテーション、地域精神医療等を学ぶ。

週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時間	月	火	水	金	土
AM	病棟業務 外来予診	病棟業務 外来予診	病棟業務 外来予診	病棟業務 メタ認知トレーニング	病棟業務 外来予診
PM	入退院カンファ & 病棟回診 病棟業務 脳波カンファ	病棟業務 リエゾンカンファ & 回診 SST	病棟業務 集団精神療法 緩和ケアカンファ & 回診	Clinical & Research セミナー 病棟業務 病棟カンファレンス	病棟業務

指導医からのメッセージ



准教授 船橋 英樹 (医局長)

精神科には、精神保健指定医と精神科専門医の二つのライセンスがあります。3年の時間をください。大学病院を基幹として、県内外の連携施設とともに、指定医・専門医にふさわしい症例を経験してもらい、疾患の考え方から治療法、精神保健にまつわる法律、レポートの書き方まで、責任をもって指導します。申請者はすべて遅滞なく合格しています。まずはスタンダードができる精神科医をしっかりと育成しますし、そこからサブスペシャリティの相談にも乗ります。従来の老年精神専門医、緩和医療専門医に加え、子どものこころ専門医、精神科救急専門医、リエゾン専門医の体制を整備しました。大学院で博士を取得したい人もぜひ。お待ちしております。普段より真面目に答えています。

先輩からのメッセージ



専攻医 矢野間 悠晟
(宮崎大学病院 ～ 谷口病院 ～ 県立宮崎病院)

『治療者は患者と山頂で出会い、どこに次の一歩を踏み出せばよいかをともに探りながら、安全に麓まで寄り添う』。中井久夫という偉い先生がそう言っていました。上り坂はきつい、ゆっくりゆっくり。いい景色が見えてきた、足元には気をつけて、ゆっくりゆっくり。雨が降ってきた、焦らずじっと弁当を食べて…。この気の長さが魅力と思い精神科医局の門を叩きました。仕事も家庭もひとりの時間も満たして、ゆとりを持って目の前の患者さんと向き合う。意外とむづかしいですが、当科にはその道のプロが勢揃い。医局はオープンです。いつでも遊びにいらしてください。

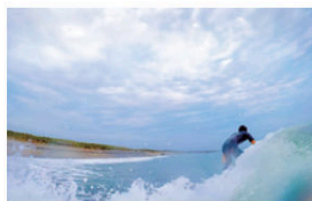
主要症例名と実績数

症例	外来	入院
F0 器質症状性精神障害	約1,500例	約1,200例
F1 精神作用物質障害	約300例	約200例
F2 統合失調症圏	約1,200例	約1,200例
F3 気分障害	約1,800例	約1,000例
F4 神経症性障害	約2,000例	約400例

助教 大平 洋明 (教育医長・卒後臨床研修センター)



精神科専門研修をお考えの先生、精神科に興味を持っていただき有難うございます。先に白状しますと、当教室は田舎の大学精神科医局です。常に人手不足です。都会のキラキラした大規模病院のように、様々な専門性を売りにしているわけではありません。カリスマ指導医も、今はまだ、いません。けれど小さいからこそ結束力が強く、日々起こる想定外の事態に知恵を出し合って対応しています。精神保健指定医や精神科専門医を取得するための症例には事欠きません。指導医も病棟医もそれぞれ専門性を意識しながら診療や研究に専念しています。宮崎県の自殺対策に情熱を燃やす医師、災害精神医療の研鑽や準備に余念のない医師、他科と密に連携しながら緩和ケアに貢献する医師、電気けいれん療法の最適化を臨床の立場から模索する医師、サーファーの精神世界に惹かれ早朝必ず波に乗ってから臨床に臨む医師、など魅力的な先輩だけです。もちろん、子育て中の医師もあり、ライフサイクルに合わせた柔軟な勤務、研修が可能です。精神科医としての第一歩を、ぜひ当科の研修プログラムで踏み出してみませんか。4月にお会いできますことを、楽しみにお待ちしております！



お問い合わせ先

担当：船橋 英樹

T E L : 0985-85-2969
F A X : 0985-85-5475
e-mail : psychweb@med.miyazaki-u.ac.jp

精神科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/psychiatry/>



外科専門研修プログラム

いざ宮崎の革新的な外科大講座へ！
日々是好日へ

募集定員
10名

研修期間
3年

責任者からのメッセージ



肝胆膵外科学分野
教授 七島 篤志

宮崎大学医学部外科が誇る革新的な大講座制度プログラムに、あなたの若々しい独創性を織り交ぜましょう！ 私たちの外科プログラムは、外科5領域＋形成外科をカバーしつつ、消化器外科を目指す方々には、サブスペシャリティのプログラムが用意されています。我々が所属します日本外科学会の専門医制度では、最終的なサブスペすべの領域を統括し、今後はさらに専門領域へと一元管理が拡大される予定です。

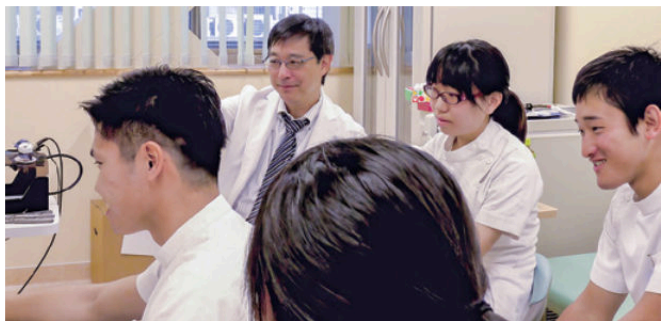
外科医の課題には、第一に地方での専門医不足がありますが、逆に考えれば、都会の大規模病院に比べて個々のチャンスは多いと捉えることができます。第二として、女性外科医の促進と環境整備です。他の領域と同様に、積極的な管理運営が期待されています。第三の課題は働き方改革で、2024年春からは時間外労働の制限や勤務状況による労働の在り方が一般の労働基準に近づきました。過去の過重労働や無益な労働を解消し、外科医の働き方やワークライフバランスに配慮することが求められます。若くて才能あふれる皆さん、技術と知恵、未知の能力を兼ね備えたあなたが、地域から世界を支え、発展させていく一員となりませんか。うまくこなせば**日々是好日(ひびこれこうじつ)**な生活も送れる時代になってきました。外科における急速なデジタル技術、高速回線、AIなどの進歩を活用して、これまでの煩わしい雑務や手順を効率化し、本来求められてきた**外科医の生命を救う真の能力を発揮できる**ようになってきております。グリーン(またはブルー)ジャケットを身につけながら、外科医のみが許される生体に傷を加えることのできる技術からのみ得られる、将来の**謙虚で優れた全人の人格**を形成していくことが大切です。

さあ、技術と知恵と、まだ見ぬ外科医としての未知の能力を兼ね備えた若人のみなさん、我々と一緒に世界を地域から支え、発展させていきましょう！



プログラムの特徴

宮崎大学医学部附属病院を基幹施設とし、宮崎県で有数の研修病院・拠点病院・救急病院として知られる複数の病院が連携施設になっています。病院の規模や地域性が異なり、幅広い経験が可能です。宮崎大学外科専門研修プログラムの関連施設全体での手術総数は約20,000件です。大学病院の手術は軒並み増加しバラエティ豊かに発展しています。分野間の連携が良く、将来何事にも対応できる専門医をめざせます。



連携施設名等

	施設名	統括責任者	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	七島 篤志 教授	消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科
連携施設	県立宮崎病院、県立日南病院、県立延岡病院、宮崎市医師会病院、都城市医師会病院、宮崎県済生会日向病院、串間市民病院、潤和会記念病院、千代田病院、新行橋病院、古賀総合病院、南部病院、宮崎生協病院、黒木病院、さがら病院宮崎、国立病院機構 宮崎東病院、宮崎善仁会病院、国立病院機構 都城医療センター、小林市立病院		

取得可能な専門医資格および技能

1階建て部分の外科専門医を3年で取得し、引き続いて2階、3階建て部分の各サブスペシャリティ専門医に速やかに移行していきます。外科医師に求められる基本的診療能力・態度(コアコンピテンシー)と

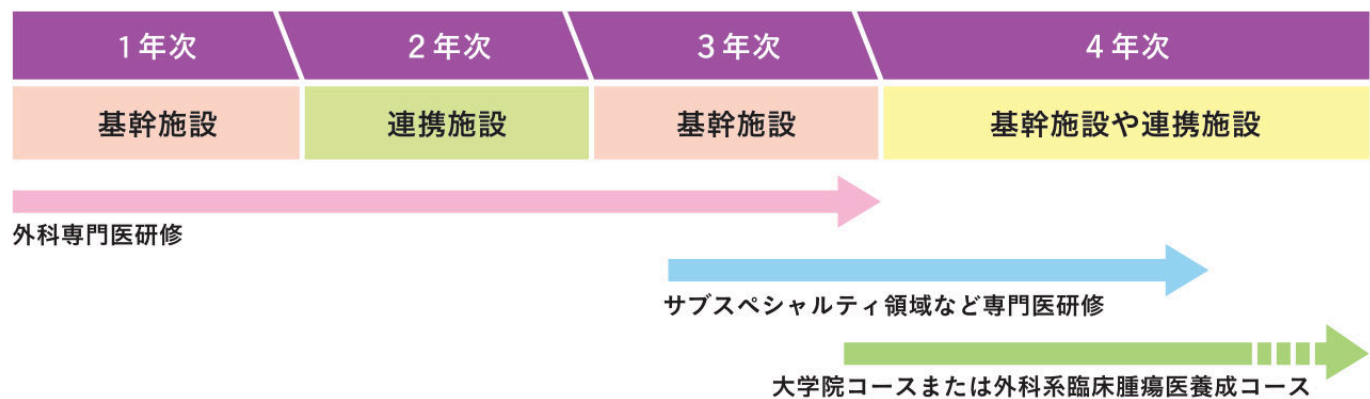
外科専門研修プログラム整備基準にもとづいた外科専門医に求められる知識・技術を取得します。



専門医取得までのタイムスケジュール

外科専門医は初期臨床研修修了後、3年(以上)の専門研修で育成されます。3年間の専門研修期間中、基幹施設または連携施設で最低6カ月以上の研修を行います。下図に宮崎大学外科研修プログラムの1例

を示します。専門研修1年目は基幹施設、2年目は連携施設、3年目は基幹施設や連携施設での研修です。3年目以降の研修は2年次終了時の達成度合いで、研修内容を検討いたします。



サブスペシャリティ領域によっては外科専門研修を修了し、外科専門医資格を取得した年の年度初めに遡ってサブスペシャリティ領域専門研修の開始と認める場合があります。

専門研修期間中に大学院へ進むことも可能です。大学院コースを選択して臨床に従事しながら臨床研究を進めるのであればその期間は専門研修期間として扱われます。

習得目標及び経験症例数

○ 専門研修1年目

主に大学病院で基本的診療能力および外科基本的知識と技能の習得を目標とします。専攻医は定期的開催されるカンファレンスや症例検討会、抄読会、院内主催のセミナーの参加、e-learningや書籍や論文などの通読、日本外科学会が用意しているビデオライブラリーなどを通して自らも専門知識・技能の習得を図ります。

一般外科/麻酔/救急/病理/消化器/
心・血管/呼吸器/小児/乳腺

経験症例 200例以上
(術者30例以上)

○ 専門研修2年目

基本的診療能力の向上に加えて、主に連携病院で外科基本的知識・技能を実際の診断・治療へ応用する力量を養うことを目標とします。専攻医はさらに学会・研究会への参加などを通して専門知識・技能の習得を図ります。

一般外科/麻酔/救急/病理/消化器/
心・血管/呼吸器/小児/乳腺

経験症例 350例以上/2年
(術者120例以上/2年)

○ 専門研修3年目

チーム医療において責任を持って診療にあたり、後進の指導にも参画し、リーダーシップを発揮して、外科の実践的知識・技能の習得により様々な外科疾患へ対応する力量を養うことを目標とします。カリキュラムを取得したと認められる専攻医には、積極的にサブスペシャリティ領域専門医取得に向けた技能研修へ進みます。3年目は原則として宮崎大学病院で研修を行い、不足症例に関して各領域をローテートします。

主要症例名と実績数

宮崎大学医学部附属病院において、外科の年間の退院患者数は約1,200人、外来患者延べ人数は、約12,000人です。手術件数も年間約1,200件ありますので、各分野の症例数は十分に満たします。

院患者数	外来患者延べ人数	手術件数も年間
約1,200人	約12,000人	約1,200件

週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時 間	月	火	水	木	金	土
朝	カンファレンス	カンファレンス	抄読会、勉強会	カンファレンス	カンファレンス	
午前	病棟業務・外来					病棟業務
午後	外来・総回診	外 来				
9:00～	手 術					
夕方	放射線診断合同カンファレンス	医局全体ミーティング	内科外科合同カンファレンス 医局全体ミーティング	病理合同カンファレンス	病理合同カンファレンス	

指導医からのメッセージ

消化管・内分泌・小児外科 土持 有貴

初期研修が無事終了し、これからいよいよどの専門に進むか思いを巡らせておられることと思います。一度きりの人生を大きく左右する選択といっても過言ではありませんが、これまでの学生生活や研修医期間の決められたカリキュラムと違って、これからは自分がどんな医師人生を歩んでいきたいか、それぞれの意思で自分の道を築いていくことになります。当外科学教室は大講座制で、各専門分野の先輩たちと一緒に働きながら、自分の関心のある領域をじっくり選ぶことが可能です。また、大学病院と地域の連携病院をローテートする研修プログラムを通して、幅広くバランスの取れた臨床経験を積んでいくことができます。

困難を乗り越えながら、一生探求し続けることのできる魅力的な分野と思います。興味のある方、大歓迎です！

ココに注目！

現代の患者のニーズでは女性外科医の必要性は年々高まっていて、宮崎大学プログラムはいち早く女性医師が働きやすい環境整備をすすめ、性別にかかわらず就業・キャリア形成ができるよう最善を尽くしています。女性が働きやすい職場こそ男性も働きやすい職場である認識から、共に21世紀の働き方を改革しましょう。



宮崎大学外科学講座のロゴマーク

MIYAZAKI STRONG

お問い合わせ先

担当：池ノ上 実

T E L：0985-85-2291

F A X：0985-85-5563

e-mail：makoto_ikenoue@med.miyazaki-u.ac.jp

外科HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/surgery/>



責任者からのメッセージ

『「癌の手術が受けられなくなる」、「救急車を呼んでも診てくれる医師がいない」、そんな未来が現実になりつつあることをご存じでしょうか？』…これは、日本消化器外科学会が主催で行った市民公開講座ポスターの見出しです。我々の使命は、消化器外科医療における深刻な現状の打破です。確かな技術、深い知識、豊富な経験を身に着けた外科医が、お互いの立場や考えを尊重し、理解して、県内の施設間の垣根を超えて、この荒波を乗り越える大きな船を作る必要があります。今は決して大船ではありませんが、宮崎県の確かな消化器外科医療を、一緒に築き上げていきましょう。

領域の紹介

- 消化管(食道・胃・小腸・大腸)の疾患を取り扱う消化管外科と腹部実質臓器(肝・胆道・膵・脾)の疾患を取り扱う肝胆膵外科の2分野の紹介です。
- 外科学分野を横断的に学んで外科専門医を資格を得たのち、消化器外科専門医の資格取得を目標にこの2分野で研鑽をつんでいきます。
- 症例毎に手術適応、手術内容、術後合併症の対応、全身管理について、カンファレンスを重ね、安全性の高い外科診療をめざしています。

教育達成目標

将来の専門分野にかかわらず、卒後5年目の外科専門医取得を目指します。外科専門医に必要な症例数は、専門領域の研修を大学病院で、一般外科の執刀医経験を関連施設で経験することで、十分な修練が可能となります。消化器外科では、外科専門医習得の後に大学病院および関連施設で、消化器外科専門医に必要な症例数と執刀数を経験し、研究・研修実績を積みみます。消化器外科専門医習得後は、大学院進学や留学を含めて、それぞれの先生のキャリアプランに合わせて教育達成目標を設定します。もちろん、出産や子育て等で休まなければいけなくなった場合でも、きちんとキャリア形成ができるように手厚くサポートします。

取得できる専門医及び技能

消化器外科学会専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医、消化器病学会専門医、肝胆膵外科高度技能専門医、胆道学会指導医、膵臓学会指導医、大腸肛門病学会専門医、食道学会食道外科専門医、気管食道科学会専門医、日本外科感染症学会外科周術期感染管理医認定医、日本腹部救急医学会認定医、日本Acute Care Surgery学会認定医など資格取得に必要な手術や処置の技術

主要症例名と実績数

2025年の手術実績数		
症 例		実績数
【肝胆膵外科 105例】	高難度手術	55
	膵頭十二指腸切除術	22
	肝切除術	34
【上部消化管手術 162例】	食道癌手術	43
	胃癌手術	40
【下部消化管手術 136例】	直腸癌・大腸癌	103 (ロボット手術 46)
	緊急手術・その他	33
【外傷外科手術 15例】		



- 各領域で鏡視下手術を積極的に導入しています。
- 2022年よりロボット手術も導入し症例を増やしています。
- 緊急手術や外傷手術も対応しており、救命外科を経験できます。
- 若手の先生がバランスよく効率的に消化器外科に精通できるような丁寧な指導をこころがけています。

先輩からのメッセージ



宗像 駿

みなさん研修お疲れ様です。私は宮崎大学医学部を卒業後、同大学での研修を経て2017年に外科へ入局し、今年で10年目になります。臨床研修終了後の4年間は救命救急医療に従事し、宮崎大学救命セ

ンターで後期研修スタートし、ドクターヘリ診療にも携わってきました。その後、大阪の泉州救命センターで研鑽を積み、救急科専門医を取得しました。外科に入局してからは外科専門医、さらに日本Acute Care Surgery学会認定医も取得いたしました。

宮崎大学外科は大講座制を掲げており、消化器外科はもちろん、心臓血管外科・肝胆膵外科・呼吸器外科・乳腺外科・小児外科・形成外科と、幅広い分野の研修が可能です。医局内の距離は近く、先輩方もみなフレンドリーで、相談しやすく学びやすい環境が整っています。消化器外科分野では近年ロボット手術が導入され、若手術者も着実に増えてきています。

私自身は外傷外科・救急外科を専門としています。この領域は全国的にも人数が少なく、宮崎県でも担い手はごくわずかです。そこで日本Acute Care Surgery学会認定医取得のための専門コースを立ち上げ、2025年には1名が入局し、認定医を目指して共に修練を重ねています。ドクターヘリと救命救急センターのリソースを最も有しているのは、県内で宮崎大学だけです。だからこそ私たちは、宮崎県の最後の砦として踏ん張らなければならないと考えています。

熱い志を持った若手の皆さんの加入を、心よりお待ちしております。少しでも興味のある方は、どうぞお気軽にご連絡ください。お待ちしております！

責任者からのメッセージ

心臓血管外科
科長 古川 貢之

心臓血管外科と聞くと、ハードで厳しいイメージを持つ方も多いかもしれませんが、確かに簡単な分野ではありませんが、その分、患者さんの人生に深く関わり、大きなやりがいを感じられる仕事です。当科では、一人ひとりの成長に合わせた指導を大切に、安心して学べる環境づくりを心がけています。チームで支え合いながら、少しずつできることを増やしていきましょう。興味のある方は、ぜひ一度見学にいらしてください。

領域の紹介

当科では、成人心臓疾患、先天性心疾患、大動脈疾患、末梢血管・静脈疾患まで幅広く診療しています。MICS手術やTAVI、ステントグラフトなど低侵襲治療にも積極的に取り組む一方、地域の中核施設として難易度の高い手術や小児・成人先天性心疾患にも対応しています。手術は術者の判断や熟練の手技、チームの連携が不可欠であり、AIを活用しつつも代替できない領域です。関連病院との連携で多様な症例を経験でき、国内外への留学機会もあり、着実にスキルアップできる環境です。

週間行事・研修に関する行事

外来は月・水曜日、手術は火・金曜日（どちらも並列）に行っています。週のリズムが比較的一定しているため、日々の業務の見通しを持ちながら働くことができます。毎週水曜日にはハートチームカンファレンスを開催し、多職種で治療方針を検討しています。

取得できる専門医及び技能

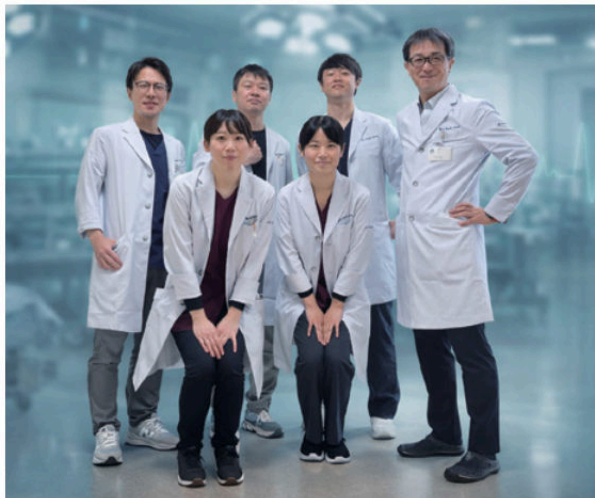
- 外科専門医
- 心臓血管外科専門医
- 脈管専門医
- ステントグラフト実施医および指導医

先輩からのメッセージ



岩崎 あや香（卒後12年目）

段階的に経験を積める環境と周りのサポートに何度も助けられてきました。現在は年間約60例の執刀を任せてもらえるまでになり、一人で抱え込まずにいい安心感の中で成長できています。12年目の今も学びは尽きませんが、患者さんの「ありがとう」やチームでやり遂げた達成感は特別です。少しでも興味(私は血管が大好きです！)があれば、ぜひ一度見に来てください。



教育達成目標

担当グループの一員として、患者さんの入退院管理や術前プランニング、手術に参加します。多くの症例は標準的な経過をたどるため、日々の診療を通じて基礎的な診療力を着実に身につけることができます。一方で、緊急手術などのイレギュラーな場面も経験し、対応力や診察力を養うとともに、患者さんやご家族への関わり方も学びます。外科の基本手技に加え、循環の理解や術後管理の基礎も習得します。さらに、学会発表や症例報告の作成にも取り組み、臨床力と発信力の両方を高めていきます。

主要症例名と実績数

2025年の手術実施件数	
症 例	実績数
心臓大血管開心術	112件
成人心臓大血管手術	204件
先天性小児手術	20件
腹部大動脈瘤など末梢血管手術	68件
ステントグラフト内挿術	83件
総 数	292件



阪口 修平（医局長）

宮崎で育ち、医師になった後、福岡で3年間、さらにフランスで1年間の研鑽を積み、現在は当科で診療・教育に携わっています。外の環境で学んだからこそ、基礎を大切にしながら一人ひとりの成長に寄り添う指導を心がけています。安心して挑戦できる環境づくりを大切にしています。

責任者からのメッセージ

呼吸器外科
科長 前田 亮

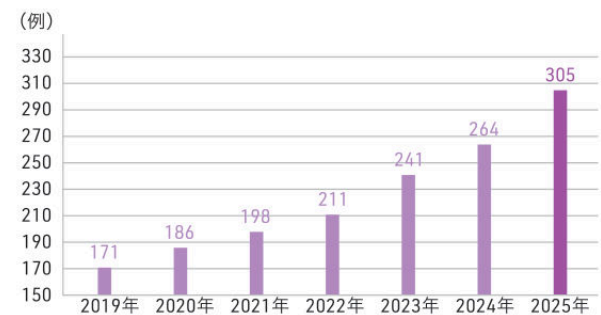
宮崎大学呼吸器外科では、完全鏡視下手術、ロボット支援下手術を早くから取り入れ、全国トップレベルの医療を提供し続けるべく、日々奮闘しております。外科医としての貴重な経験を積むことが可能である一方、緊急手術に忙殺されることは稀ですので、日々進歩する医学の新しい知見を勉強する時間的余裕もあり、患者さん一人ひとりの治療にしっかり向き合うこともできます。肺や縦隔疾患に少しでも興味をお持ちの方は、是非お待ちしております。

領域の紹介

当呼吸器外科では、原発性肺がん、他臓器からの転移性肺腫瘍などの胸部腫瘍性疾患、縦隔の各種疾患、気胸や悪性胸膜中皮腫などの胸膜疾患、胸部の感染性・炎症性疾患(肺結核、非定型抗酸菌症、膿胸など)、胸壁疾患(胸壁腫瘍や漏斗胸)などの外科治療を行っております。近年の手術では、内視鏡を使用し

教育達成目標

- 患者やその家族と十分にコミュニケーションを図り、信頼関係を築く。
- 各疾患(肺癌、自然気胸、慢性肺気腫、炎症性肺疾患、縦隔腫瘍)の病態を理解し、指導医とともに治療計画(手術適応の検討)を立てる。
- 胸腔ドレナージの目的と意義を理解し、その手技を経験する。
- 開胸・閉胸手技を経験する。
- 頻度の高い周術期合併症について認識し、その対策について学習する。
- 肺理学療法目的と原理について学習する。



2025年全身麻酔手術件数と内訳

症 例	実績数
肺悪性腫瘍	196
縦隔腫瘍	14
良性腫瘍、炎症性肺疾患	25
気胸	13
膿胸	19
外傷	10
その他	28
合計	305



て侵襲の少ない小さな手術創で行う胸腔鏡下の手術(VATS)を各種呼吸器疾患に広く応用しています。また令和2年1月より、原発性肺癌に対するロボット支援手術を開始し、質を落とすことなくさらなる低侵襲治療を行っています。

週間行事

月曜日・金曜日は外来日、火曜日・木曜日は終日手術です。検査、カンファレンスは水曜日に行い、また内科、放射線科、病理との合同カンファレンスも行っております。

取得できる専門医及び技能

- 外科専門医(卒後6年)
- 卒後8年で呼吸器外科専門医

呼吸器外科では若い外科医に積極的に肺癌を始めとした手術の執刀をしていただいています。

先輩からのメッセージ



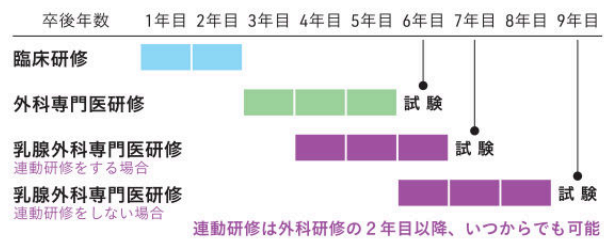
猪俣 麻佑

私自身、学生や研修医時代は見るとの全てが新鮮で、なかなか志望科を決めきれずにいましたが、その中でも手術の面白さに触れ、さらに患者様の体内から自分たちの手で病気を取り除くことができることに醍醐味を感じて呼吸器外科医になることを決めました。温かく、熱心な先生方からご指導いただきながら、呼吸器外科医として必要な症例経験はもちろん、各科の周術期管理やそれに付随する手技を取得することができ、充実した毎日を送ることができています。呼吸器外科は強い結束力も魅力の一つですので、ぜひ一度見学に来て、その雰囲気を感じていただければと思います。

取得できる専門医及び技能

外科医局に入局後、外科専門医の取得を目指します。入局後は、心臓血管、呼吸器・乳腺、消化管・内分泌・小児、肝胆膵の4分野を2〜3か月ごとに1年間ローテートし、症例経験を積むことで、外科専門医の取得が可能です(外科専攻医として3年間の研修が必要です)。2022年より、日本専門医機構において乳腺外科はサブスペシャリティ領域として認定されており、乳腺外科専門医の取得も可能です。外科専攻医1年目終了後から乳腺外科専門医研修カリキュラムに沿った研修を開始でき、3〜5年間の修練を経て、最短で卒後6年目に外科専門医、7年目に乳腺外科専門医の取得が可能です。研修は、県立宮崎病院やさがら病院宮崎をはじめとする関連施設と連携して実施しており、今後は宮崎市外の医療機関との連携も拡充予定です。また、マンモグラフィー読影医やがん治療認定医の取得についてもサポート体制を整えています。さらに、結婚や子育てなどライフイベントと両立しながら乳がん診療に継続して関わることも可能です。

専門医研修のフローチャート



主要症例名と実績数

2025年度は79例の乳癌手術を行いました。大学ではリスクが高い症例や高齢者が多い関係で乳房切除術が多くなっています。また、リンパ浮腫のリスクの少ないセンチネルリンパ節生検(色素とRIとの併用)を多くの症例(52例)で行っています。また、乳房の整容性を保つために、乳房温存部分切除術(放射線照射を要します)や形成外科と合同で乳房同時再建(5例)を行っています。加えて、昨年は延べ600例以上の外来化学療法を行いました。

2025年の手術実績数	
症 例	実績数
【乳腺悪性腫瘍手術 79例】	
乳房温存部分切除+センチネルリンパ節生検	15
乳房温存部分切除+腋窩廓清	0
乳房切除+センチネルリンパ節生検	45
乳房同時再建	1
乳房切除+腋窩廓清	15
その他の乳腺悪性腫瘍手術	3
乳腺腫瘍摘出等	6
その他(リンパ節生検等)	4
RRM(リスク軽減乳房切除術)	1
合計90例	

先輩からのメッセージ 古島 理紗子

乳腺外科は、「手術・診断・薬物療法」すべてに関わりながら、患者さんと長く向き合えるやりがいのある分野です。当科では、外科専攻医として幅広い外科研修を行いながら、早期から乳腺診療に主体的に関わることができます。また、県内の乳腺外科医が一体となって若手教育に力を入れており、関連施設と連携し豊富な症例を経験できる環境が整っています。ライフイベントと両立しながら長く続けやすいのも乳腺外科の魅力です。少しでも興味があれば、ぜひ一度見学に来てください。実際の現場で、その魅力を感じてもらえたら嬉しいです。



責任者からのメッセージ

乳癌は女性の悪性腫瘍の中で最も頻度が高く、しかも比較的若年の働き盛りの世代に多い疾患です。しかしながら、宮崎県では乳腺外科医が少ないのが現状です(乳腺専門医の人数は全国で43位)。乳腺外科は比較的新しい分野であり、外科と乳腺腫瘍の診療のハイブリットにより早期乳癌の根治や進行・再発乳癌の治療、ケアを科学的に行っています。またMIRAY1というのは日本乳癌学会の中の全国の若手の会員で構成されるグループ「Multi Institutional bReast cAnceRYoung team No.1」になります。若手医師の施設、専門科を超えた横断的なネットワークの形成。多彩化するキャリアパス支援。学生や研修医のリクルート・教育を目的としています。今回はそれに肖りキャッチコピーとしました。興味のある方は是非当科に連絡、参加ください。

領域の紹介

当科では、画像診断(マンモグラフィやUS)、針生検などの基本的な乳腺診療から手術、化学療法まで全てを行っています(がんゲノム医療や妊孕性の問題も扱っています)。乳癌の薬物療法も行っていますが、薬剤の進歩により最近では著効例も多い状況です(CDK4/6阻害剤や新規抗HER2薬など)。常勤の乳腺専門医・指導医1名に加え、外科専攻医(乳腺外科専門医・研修カリキュラム)1名、非常勤の乳腺専門医1名で外来診療、手術に携わっています。昨年は外科専門医取得を目指している後期研修医のローテーターにも術者として参加するように指導しています。研究面では臨床医の視点から問題点を見だし、分子レベルでのメカニズムを解き明かすことを目標にしております。現在、HER2陰性乳癌の術前化学療法後の追加治療に関する最近の診療や発熱性好中球減少症の予防的なメカニズムに迫っていく研究や新規抗HER2薬による薬剤性心不全に関する研究に取り組んでいます。

Clinical Experience With Preventing Chemotherapy-Induced Neutropenia in Breast Cancer Patients With Different Timings of Pegylated Granulocyte Colony-Stimulating Factor(PEG-G-CSF) Injection: A Case Series) Y.Tominaga, K.Furukawa; Cureus (17)8 e91258, 2025

教育達成目標

乳腺外科での外来診療(画像診断、針生検、化学療法等)や手術に加えて、学会発表や論文作成(乳腺外科専門医取得にはファーストオーサーで1報必要)を行い、外科専門医、乳腺外科専門医を取得するのが先ずは目標と考えています。これらには日々の診療を1つずつクリアしていくことが大切だと考えています。

指導医からのメッセージ

女性で最も多い乳癌に対して様々な面から取り組んでいます。昨年度は施設基準をクリアして宮崎県で初めてのリスク軽減乳房切除術を行いました。また、昨年から入局後、1年目で全ての外科の領域を網羅していき、2年目からは乳腺外科を主体として研修できるシステムに変更しています。今後は地域枠の医師にも対応できるように宮崎市・東諸県郡以外でも乳腺外科を学べる施設を増やすことを検討中です。皆で宮崎の乳腺外科診療を担っていきましょう。

責任者からのメッセージ

小児外科専門医とは子どもを安心して預けることができる外科医です。単に手術や解剖学的な知識の蓄積だけでなく、小児の成長を考え合わせた特性や小児の外科疾患の特徴についての十分な知識と経験が必要になります。小児外科専門医となるには日本外科学会・日本専門医機構において外科専門医を取得した後にサブスペシャリティである小児外科専門医を取得することになります。

宮崎大学外科学講座では卒後研修期間中は外科専門医所得のため一般の外科の知識、技術の習得を考慮した指導を行い、外科専門医から小児外科専門医取得へとつなげる一貫した育成プログラムを行っています。これからの外科医療を支えていくためには若き医師の力が必要であり、その育成に力を入れています。

領域の紹介

小児外科は鼠径ヘルニアや停留精巣などの一般的な小児外科疾患から先天性の新生児・乳児疾患(鎖肛や食道閉鎖、Hirschsprung病など)や急性虫垂炎や腸重積などの救急疾患、小児期より若年期・成人期へ診療が継続している重症心身障害児への外科的介入、小児がんに至るまで幅広い疾患を対象として診療を行っています。頸部から肛門に至るまで、呼吸器、消化器、生殖器、軟部組織と幅広い臓器を対象とすることも大きな魅力の一つです。また成人外科はがん診療を中心とするのに対し、小児外科は機能を回復する手術を中心とします。機能的な予後を長期にわたリフォローし、診療に携わった子どもの成長をご家族と一緒に実感することができます。この楽しみは小児外科に特有のものです。<http://www.jsps.or.jp/disease-to-treat>
(日本小児外科学会：小児外科で治療する病気)

取得できる専門医及び技能

卒後7年で小児外科専門医の取得が可能です。小児外科専門医になるには日本小児外科学会が認定した施設で研修する必要があります。

- 外科専門医
- 小児がん認定外科医
- 外科指導医
- 新生児認定外科医
- 小児外科専門医
- 日本内視鏡外科学会技術認定医など
- 小児外科指導医

主要症例名と実績数

宮崎大学病院において年間100例前後の特に新生児疾患、小児がん、重症心身障害児に対する外科治療および内視鏡手術を行っています。また県立宮崎病院小児外科や鹿児島大学小児外科とも連携し、宮崎県の小児外科医療を支えています。

2025年の手術実績数	
症 例	実績数
鼠径ヘルニア手術	27 (うち腹腔鏡手術16例)
腹腔鏡下または開腹による噴門形成術・胃瘻造設術	11
停留精巣固定術	10
植込型中心静脈カテーテル留置	10
臍ヘルニア根治術	2
鎖肛(高位及び低位)根治術	2
先天性胆道拡張症手術	3
小児固形腫瘍手術(生検含む)	7
腸閉鎖症手術	1
横隔膜ヘルニア根治術	1
腹腔鏡下虫垂切除術	2
総計98件	
うち新生児症例4件(4%)、腹腔鏡・胸腔鏡下手術33件(34%)、緊急手術6件(6%)	



教育達成目標

まれな疾患が多い小児外科疾患の診断・治療を適切に行えるようになることを目標とします。最新の医療を学び、医学研究に対する興味を持てるように、積極的に学会発表を行ってもらいます。

- 小児外科的疾患の診断に必要な問診と身体診察を適切に行うことができる。
- 小児外科疾患の診断計画をたてることができる。
- 小児外科疾患の診断に必要な基本的検査法の実施及び一部の特殊検査の選択と結果の解釈ができる。
- 小児外科における基本的治療・手術法を適切に選択し、確実に実施することができる。
- 小児外科疾患の患者とその関係者に、病状と診療に関し十分な説明を行なうことができる。

週間行事・研修に関する行事

時間	月	火	水	木	金	土
朝	消化管・内分泌・小児外科カンファレンス	肝胆膵カンファレンス	消化管・内分泌・小児外科カンファレンス	休日	外科学講座全体カンファレンス	
午前	病棟業務	外来	外来検査病棟業務	回診病棟業務	手術	外来病棟業務
午後	病棟業務	病棟業務	周産期合同カンファレンス		手術	

指導医からのメッセージ

小児外科診療科長・総合周産期母子医療センター講師 中目 和彦

小児人口の減少、外科医の減少に伴い、小児外科医も減少しています。しかし手術を必要とする小児や赤ちゃんがいなくなることはありません。小児外科専門医は小児に対するgeneral surgeonであり、小児に対して広く深い知識・スキルが要求されます。人生100年の時代を見据えて小児の将来をサポートしていくことはやりがいのある仕事だと思います。外科・小児外科に興味がある方は、気軽にご連絡ください。

形成外科専門研修プログラム

今が大チャンス！
宮崎で形成外科専門医を取得しよう！

募集定員
3名

研修期間
4年

責任者からのメッセージ

形成外科

病院教授 伊東 大



宮崎県には形成外科専門医も指導医もまだまだ足りません。2021年度から当科を基幹施設とした研修プログラムで、後期研修医募集を開始しました。宮崎江南病院、都城市郡医師会病院、都城市のさかいクリニック、東京都の国立病院機構災害医療センター・東京女子医大附属足立医療センター、埼玉県のかたぎりクリニック・川口市立医療センター・上尾中央総合病院、大阪市立総合医療センター、沖縄ハートライフ病院が連携施設です。さらに東京女子医大病院、鹿児島市立病院、久留米大学病院、大阪公立大学病院とプログラム連携しています。充実したプログラムおよび充足した症例数を有し、実りある後期研修医生活を送れるようスタッフ一同日々努力しております。少しでも興味があり、やる気のある方、お待ちしております。

プログラムの特徴

本プログラムでは、形成外科専門医となるために経験すべきすべての疾患に関し経験することが可能で、もちろん形成外科専門医取得が可能です。より難易度が高く稀な疾患・病態に対する治療頻度が高いのも特徴です。

- 1 包括的な体表外科：**先天異常、外傷、腫瘍、炎症性・変性疾患など体表面の外科的疾患すべてに豊富な症例数を有しています。
- 2 多種多彩な創傷に対応する外科的治療：**「創傷外科」として院内で発生する術後創に関するトラブルに対応しています。開頭術後の難治性潰瘍、開胸術後の縦隔炎、消化器外科などの腹部手術後の創離開、皮膚科・整形外科での皮膚欠損創など、多種多彩な手術創の修復に関わっています。創傷外科専門医の取得も可能です。
- 3 微小血管吻合技術を用いた再建手術：**外科系各科との緊密な連携により、頭頸部再建、腹壁再建、乳房再建、四肢再建など各種再建手術において遊

- 離組織弁移植術を行っています。また、切断指再接着や肝切除の際の肝動脈吻合などの微小血管吻合も行い、良好な治療成績を得ています。再建・マイクロサージャリー指導医の取得も可能です。
- 4 熱傷治療施設としての地域貢献：**これまで救命救急科・皮膚科が、宮崎県の熱傷治療を支えてきました。現在は当科も加わって協力し宮崎県の熱傷治療に大きく貢献しています。熱傷専門医の取得も可能です。
- 5 研究への取り組み：**遊離皮弁移植後の皮弁の血行動態や創傷治癒などの臨床研究に取り組んでいます。希望者には米国テキサス大学への研究留学も夢ではありません。

連携施設名等

	施設名	指導医	症例数
基 幹 施 設	宮崎大学医学部附属病院	伊東 大 教授	約400例
連 携 施 設	さかいクリニック、宮崎江南病院、国立病院機構 災害医療センター、東京女子医大附属足立医療センター、大阪市立総合医療センター、川口市立医療センター、上尾中央総合病院、かたぎりクリニック		
連 携 候 補 施 設	ハートライフ病院		
地域医療連携施設	都城市郡医師会病院		
他プログラムの基幹施設	東京女子医大病院、久留米大学病院、大阪公立大学病院、鹿児島市立病院		

取得可能な専門医資格および技能

- 日本専門医機構 形成外科専門医
- 日本形成外科学会認定 特定分野指導医
- 日本創傷外科学会認定 創傷外科専門医
- 日本頭蓋顎顔面外科学会認定 頭蓋顎顔面外科専門医
- 日本熱傷学会認定 熱傷専門医
- 日本手外科学会認定 手外科専門医
- 皮膚腫瘍外科分野指導医
- 小児形成外科分野指導医
- 再建・マイクロサージャリー分野指導医

プログラム達成目標

- 1 専門知識**
専攻医は専門研修プログラムに沿って(1)外傷、(2)先天異常、(3)腫瘍、(4)瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド、(5)難治性潰瘍、(6)炎症・変性疾患、(7)その他、(8)美容外科について広く学ぶ必要があります。
- 2 専門技能**
形成外科領域の診療を(1)医療面接(2)診断(3)検査(4)治療(5)偶発症に留意して実施する能力の開発に務める必要があります。
- 3 4年間で手術経験数および執刀数**
基幹施設と連携施設を合わせた研修施設群全体について、専攻医1名あたり4年間で最低300例(内執刀数80例)の経験(執刀)症例数を必要とします。

主要症例名と実績数

○ 主科別手術件数

診療科	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
形成外科	205	257	317	360	300	273	286	275
耳鼻咽喉科	34	33	15	8	9	12	8	12
歯科口腔外科	18	30	28	27	23	27	18	18
救急科	5	8	7	4	6	6	10	7
整形外科	10	10	5	12	9	7	9	5
外科	22	7	20	27	21	19	18	8
皮膚科	10	2	0	0	1	4	1	1
脳神経外科	7	3	3	3	2	1	4	2
産婦人科・N	1	0	1	0	4	2	1	2
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	1
眼科	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	312例	350例	396例	441例	375例	351例	355例	332例

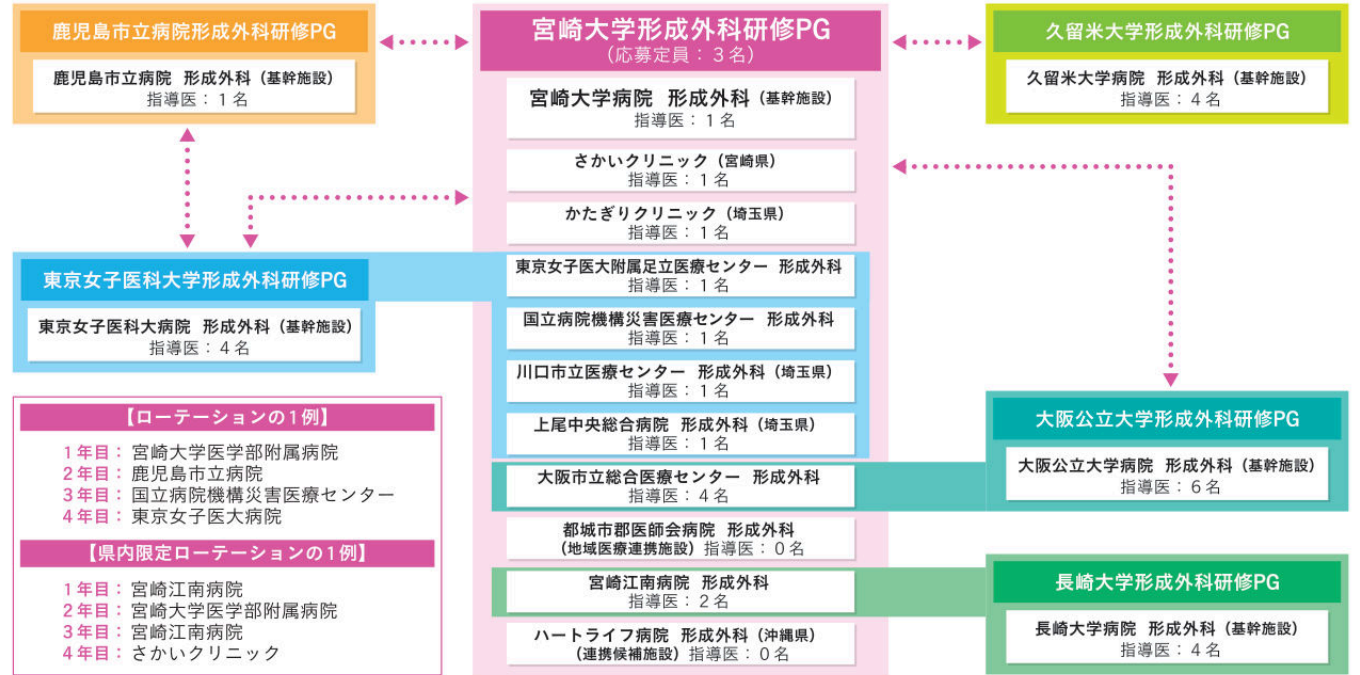


日本創傷外科学会
マスコットキャラクター「なおるん」

専門医取得までのタイムスケジュール(専門研修ローテーション)

本研修プログラムでは宮崎大学医学部附属病院を基幹施設とし、9つの連携施設、及び4つの他プログラムの基幹施設とともに病院施設群を構成しています。施設群で育成することの意義は、各施設によって分野や症例数が異なるため、専攻医が専門研修カリキュラムに沿って十分に研修を行うことです。専攻医はこれらの施設群をローテートす

○ 専門研修施設群

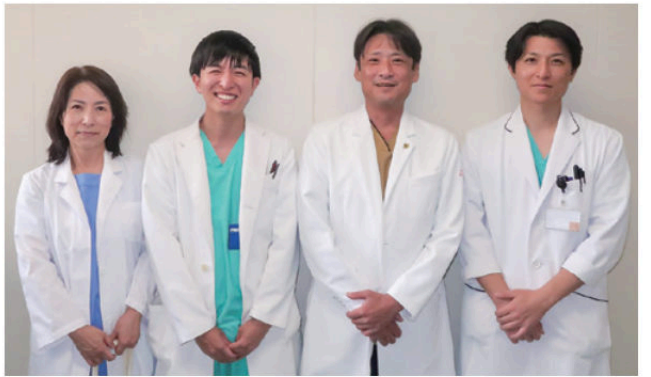


週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

時 間	月	火	水	木	金
朝	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 外科総カンファ 回診
午前	外 来	外来 中央手術	中央手術	外 来	中央手術
午後	外来手術	中央・外来手術	中央手術	外来手術	中央手術
夕方	頭頸部カンファ イブニングカンファ 回診	イブニングカンファ 回診	イブニングカンファ 回診	術前カンファレンス イブニングカンファ 回診	術後カンファレンス イブニングカンファ 回診、抄読会

先輩からのメッセージ

2015年発足した宮崎大学病院外科学講座形成外科分野は、現在医師4名で診療にあたっております。手術症例数は2025年の1年間で約350例でした。約1/3が他科との連携手術症例で、その殆どが再建手術であり、年々増加傾向です。つまり当科の特徴は、一人当たりの経験症例数が非常に多いため、経験値が急上昇。しかも他科からの紹介症例が多く、経験できる手術症例の種類が多様である事です。さらに形成外科学分野は外科学講座と大きな母体にいることで早急に様々な問題が解決できます。外科学講座内は非常にコミュニケーションがとりやすく、困った症例などで他科に相談するというストレスがなく解決できます。さらに外科の知識が豊富に吸収できる事も特徴です。是非見学に来てください！お待ちしております。



お問い合わせ先

担 当：伊東 大

T E L：0985-85-9786
F A X：0985-85-9788
e-mail：hiroshi_itou@med.miyazaki-u.ac.jp

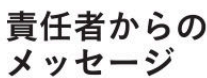
形成外科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/surgery/info-field/field-4/>



Orthopaedics is My Life!
運動器のスペシャリストを目指して！

研修期間
4年



宮崎の自然や人は最高です。

また、柔軟性のある理想的教育環境や研修カリキュラム、気軽に相談できる多くの指導医がいます。

是非、一緒に研修し世界を視野に地域から始めましょう。南国宮崎の自然と人があなたを待っています！

プログラムの特徴

本プログラムは3年9ヶ月の研修を義務付けており、4年目の12月で終了し、1月に専門医試験を受験します。

- 1年目は大学病院で研修します。
- 2～3年目は地域中核病院または宮崎市内の連携病院で、主に一般整形外科・外傷を学び外来～手術～後療法の主治医となります。この時期に地域医療も研修します。
- 3年9か月の研修後に、大学院希望者は大学院コースへ、subspeciality希望者は大学を含む連携病院での研修が選択できます。
- 専門医取得後、海外・国内留学などを推奨しています。また、各種競技の帯同ドクター、スポーツ現場での活動や日本スポーツ協会公認スポーツドクターの取得も推奨しています。
- 女性医師へのサポート体制も整えています。産休・育休の取得はもちろんのこと、家庭の状況に応じて勤務形態を選択することができ、女性にも優しいプログラムになっています。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基 幹 施 設	宮崎大学医学部附属病院	亀井 直輔、他13名	脊椎、上肢・手、下肢、外傷、リウマチ、スポーツ、小児整形、腫瘍、リハビリ
連 携 施 設	高千穂町国民健康保険病院、宮崎県立延岡病院、済生会日向病院、宮崎県立こども療育センター、宮崎市立田野病院、宮崎市郡医師会病院、宮崎江南病院、串間市民病院、宮崎県立日南病院、都城市郡医師会病院、国立病院機構都城医療センター、えびの市立病院、国立病院機構宮崎病院、千代田病院、藤元総合病院、橘病院、野崎東病院、球磨郡公立多良木病院、宮崎善仁会病院、潤和会記念病院、小林市立病院、なんごう病院		

取得可能な専門医資格および技能

＜取得可能専門医＞

日本整形外科学会整形外科専門医
日本リハビリテーション医学会リハビリテーション専門医

＜サブスペシャリティ＞

日本脊椎脊髓病学会指導医、日本手外科学会専門医

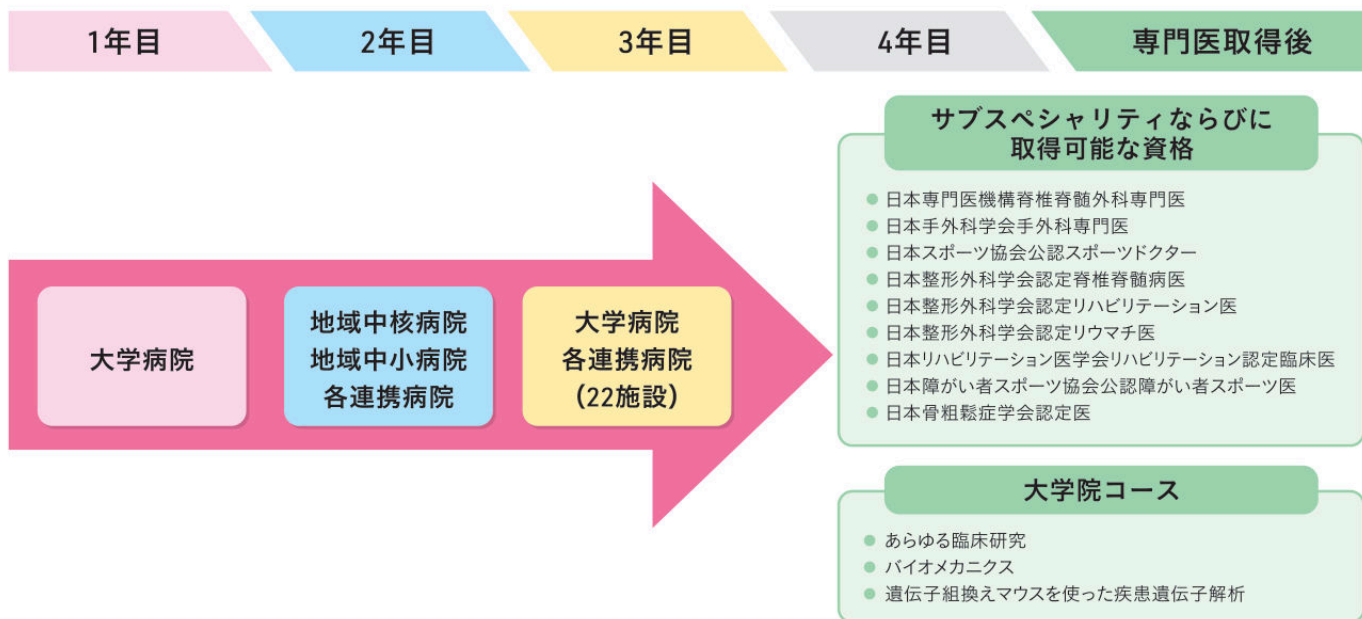
＜取得可能な資格＞

日本スポーツ協会公認スポーツドクター、日本リハビリテーション医学会リハビリテーション認定臨床医、日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ医、日本医師会健康スポーツ医、日本人工関節学会認定医、日本骨粗鬆学会認定医、日本関節学会関節鏡技術認定医

■ 主要症例名と実績数

入院加療を行っている症例は、救急外傷(多発・重度外傷)、骨折などの外傷はもちろんのこと、変形性関節症などに対する再生医療としての骨切り術・関節形成術や人工関節置換術、靱帯損傷に対する靱帯再建や腱板損傷や肩関節脱臼に対する関節鏡視下手術、顕微鏡手術を導入した脊椎外科、スポーツ選手管理を行うスポーツ整形、手の機能再建や多指症など先天性疾患に対する形成術を中心とした手外科、骨軟部腫瘍に対する化学療法や再建術、薬物療法から機能再建術まで担う関節リウマチ、小児整形外科、骨粗鬆症など、専攻医はすべての症例を研修することができます。手術症例数は年間1,300例で、同規模の病院では最多です。

専門医取得までのタイムスケジュール



週間スケジュール（整形外科）

時間	月	火	水	木	金	土
AM	手 術	外 来・手 術	外 来	休 診	術前カンファ・外来・手術	外 来・手 術
PM	手 術	外 来・手 術	外 来・検 査		手 術	手 術

指導医からのメッセージ



『整形外科は大工さんみたい』確かに手術室ではドリルやハンマーの音が響きます。力仕事のイメージがあるかもしれませんが、実はスクリュ
1本にも工夫を凝らしており、女性医師も数多
く活躍しています。最大の魅力は、患者さんの
笑顔が見られるところです。今まで歩けなかった方が歩けるようになったり、痛みが軽くなったり、整形外科は子供からお年寄り、アスリートまで診る運動器のスペシャリストです。また整形外科専門医を取った後にスポーツドクターなどのサブスペシャリティーにも挑戦できますし、骨粗鬆症などありふれた病気もまだまだ解明できない謎があり、アカデミックな研究も盛んに行なっています。整形外科に少しでも興味の
のある方、まだ将来何科になるか悩まれている方はぜひ研修に来てく
れれば嬉しいです。一生の仕事になると思います。

先輩からのメッセージ



整形外科は、多様な働き方が可能であり、個々のライフステージに応じたキャリアを築くことができます。診療科です。私自身、出産・育児という人生の大きな節目を迎えた際に、その柔軟な環境の恩恵を受けました。

産後、育休を経て職場復帰した際には、手術を伴わない一般外来を中心とした病院に異動し、0歳から100歳まで幅広い患者さんを診る機会を得ました。この経験は、整形外科医としての総合的な診療力を高める貴重な時間でした。産後2年半程してからは脊椎外科を志し、手術に復帰して経験を積んでいます。このように、当医局ではそれぞれの状況に合わせた働き方を支援し、育児と仕事を両立できる環境が整っています。先生方の協力や配慮のおかげで、安心してキャリアを継続することができるのも大きな魅力です。温かく協力的な雰囲気の中で、多様な経験を積みながら、自分に合った働き方を見つけられる 当科と一緒に働きませんか？

■ ココに注目！

当科では、侍ジャパン、なでしこジャパン、サッカー日本代表U-16、ラグビー高校日本代表やラグビーワールドカップ、国スポ・障スポの帯同ドクターの派遣、各種大会のメディカルチェック・サポートも行っています。

さらに、宮崎でキャンプを行うプロチーム等のメディカルサポートも担当しています。

また少年野球検診等に関する事業にも力を入れており、子供からの運動器のケアを行っています。

整形外科HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/ortho/>



救急（超急性期）～回復期時期の
リハビリテーション科
専門研修プログラム

募集定員
2名
研修期間
3年



責任者からの
メッセージ

リハビリテーション科
教授 荒川 英樹



宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科専門研修プログラムは、地方の立地を生かし、多くの症例の経験ができ、専攻医の皆さん

の多様な希望にこたえられるプログラムを提供します。宮崎県はいわゆる地方都市です。大都市と比較して患者数ではかないませんが、以下の点で有利であり研修を勧めます。宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科が地域の8つの連携施設と密に連絡を取りあい、専攻医の希望を取り入れながら研修を進めていきます。宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科専門研修PGのメリットは以下の通りです。

- ① ほとんどすべての難治症例が宮崎大学医学部附属病院に搬送されます。従って基幹病院である宮崎大学医学部附属病院で研修することは、多くの難治症例を経験することができます。専攻医数も少ないので丁寧な指導が期待できます。
- ② 一人あたりの専攻医が受け持たせてもらえる患者の数や、主体となって実施できる検査などが格段に多くなっています。
- ③ 大都市の病院では専門分野は細分化する傾向がありますが、地方都市では多くの専門分野を総合的に研修できます。

プログラムの特徴

当院は宮崎県における中核的教育医療機関で、ドクターヘリを運用する救命救急センターを軸とした超急性期リハや高度合併を有する内部障害リハ、がんリハなど幅広いリハが特徴です。また近接する宮崎大学宮崎市立田野病院と併設の介護老人保健施設では地域在宅のリハ／ケア医療の実践に力を入れていますので、実際の地域往診、訪問・介護リハ、看取りケアなどを体験することができます。

取得可能な専門医資格
および技能

リハビリテーション科専門医(日本リハビリテーション医学会認定)宮崎大学医学部附属病院専門研修PGでは、基幹施設と連携施設それぞれの特徴を生かした症例や技能を広く、専門的に学ぶことが出来ます。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	荒川 英樹 教授、他1名	リハビリテーション科・整形外科
連携施設	延岡リハビリテーション病院、ちゅうざん病院		
関連施設	宮崎市立田野病院、宮崎県立こども療育センター、国立病院機構 都城医療センター、地域医療機能推進機構 宮崎江南病院、野崎東病院、潤和会記念病院		

専門医取得までのタイムスケジュール

図に宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科専門研修PGの3年間のプログラム(基幹病院と連携施設のローテート)における1コース例を示します。

施設は大学病院、一般病院、リハビリテーション専門病院の中から選択され、症例等で偏りの無いように、専攻医の希望を考慮して決めます。

○ 宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科研修PGのコース例



プログラム達成目標

知識として求められるものには、リハビリテーション概論、機能解剖・生理学、運動学、障害学、リハビリテーション関連領域疾患の知識などがあります。専門技能(診察、検査、診断、処置、手術など)として求められるものは、8領域に亘ります。

- ① 脳血管障害、外傷性脳損傷など
- ② 外傷性脊髄
- ③ 運動器疾患、外傷
- ④ 小児疾患
- ⑤ 神経筋疾患
- ⑥ 切断
- ⑦ 内部障害
- ⑧ その他(廃用症候群、がん、疼痛性疾患など)

主要症例名と実績数

症例	実績数（延人数／年）
脳血管障害、外傷性脳損傷など	3,000
脊髄疾患	50
運動器疾患、外傷	4,000
小児疾患	300
神経筋疾患	400
切断	50
内部障害	1,500
その他（廃用症候群、がんなど）	1,500

週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時間	月	火	水	木	金
午前	病棟カンファ リハ外来	勉強会（月1回） 病棟カンファ リハ外来 ボトックス・嚥下外来	病棟カンファ リハ外来 検査・測定	病棟カンファ リハ外来	病棟カンファ リハ外来
午後	定期ミーティング（月1回） 他科合同カンファ（月1回）	高次脳外来 検査・測定 疾患別カンファ	装具外来 疾患別カンファ	検査・測定 疾患別カンファ 勉強会（月1回）	高次脳外来 装具外来 リハカンファ 疾患別カンファ

ココに注目！

広がる
リハビリテーション医学・医療のニーズ

わが国のリハビリテーション医学・医療の原点は、戦前の急性灰白髄炎(脊髄性小児麻痺：ポリオ)、骨・関節結核、脳性麻痺などの肢体不自由児に対する療育にあるとされています。宮崎県では1959年に宮崎県立整肢学園が開設され、現在のこども療育センターへと発展しています。その後、戦傷、労働災害や交通事故で対象となる患者さんが急増し、四肢の切断や骨折、脊髄損傷のリハビリテーション医学・医療が大きな課題となりました。そして超高齢社会となった現在、リハビリテーション医学・医療の対象として、これまでの小児疾患や切断・骨折・脊髄損傷に中枢神経・運動器(脊椎・脊髄を含む)・循環器・呼吸器・腎臓・神経筋疾患、関節リウマチ、摂食嚥下障害、がん、スポーツ外傷・障害などの疾患や障害が加わりました。さらに周術期の身体機能障害の予防・回復、ロコモティブシンドローム、サルコペニア、フレイルなども加わり、ほぼ全診療科に関係する疾患、障害、病態を扱う領域になっています。更に東京オリンピック・パラリンピックを経て、障がい者(後遺症)のADLだけでなくQOLさらにより高度な機能改善に視点を向ける“障がい者スポーツ”も注目されています。残存機能に適した補装具、スポーツ関連機器などの適正やクラス分類分けなどを、リハビリテーション医学・医療という幅広い視野で経験することができます。宮崎県には、障がい者アスリートが日本・世界各地からキャンプに訪れ、サブスペシャリティとして取得可能な“障がい者スポーツ医”としても活躍できます。

先輩からのメッセージ



助教 山口 洋一郎

地域の基幹病院であるため様々な分野の症例を経験できます。また指導医の先生方の専門分野も多様で、専攻医も少ないことから充実した丁寧な指導を受けることができます。是非一緒に宮崎でリハビリ専門医を目指しましょう。

お問い合わせ先
担当：荒川 英樹
TEL：0985-85-0986
FAX：0985-84-2931
e-mail：rehabili@med.miyazaki-u.ac.jp

リハビリテーション科HP
http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/rehabili/



募集定員
10名研修期間
3年責任者からの
メッセージ産科婦人科
教授 桂木 真司

将来の進路を選ぶ際には、専門性の追求、家庭との両立、ワークライフバランス、将来のキャリアパスなど、多様な要素を考えることになるでしょう。私たち宮崎大学産婦人科教室には多様な人生観をもつ仲間が集まり、それぞれのペースで成長し、自分らしいキャリアを築いています。私自身は1995年に宮崎医科大学産婦人科に入局し、2021年に第4代教授を拝命しました。順風満帆とは決して言えない歩みの中で、多くの悩みや選択を経験してきたからこそ、「個々の価値観や人生を尊重する教室でありたい」と強く思っています。

プログラムの特徴

当院の産婦人科は、周産期医療、婦人科腫瘍、生殖内分泌、女性ヘルスケア、臨床遺伝医学の領域を担っています。周産期部門では、周産期専門医の指導のもとに母体胎児管理ならびに新生児管理を行っています。産婦人科医が新生児医療のトレーニングを行っている施設は全国でも稀ですが、胎児管理から新生児管理を一連に管理することは、母児にとって極めて有用で、過去20年以上にわたり、全国トップクラスの実績を誇っています。婦人科領域では、婦人科腫瘍専門医の指導下に、悪性腫瘍の集学的加療、腹腔鏡やロボット補助下などあらゆる婦人科手術を行っています。その他、生殖内分泌、女性ヘルスケア、臨床遺伝医学についても学ぶことができます。

連携施設名等

	施設名	指導医	分娩数（2020年度）
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	桂木 真司 教授、他9名	271
連携施設	県立宮崎病院、県立延岡病院、県立日南病院、独立行政法人国立病院機構 都城医療センター、宮崎市郡医師会病院、古賀総合病院、宮崎善仁会病院、ARTレディースクリニックやまうち、鹿児島市立病院、地域医療機能推進機構 船橋中央病院、湘南藤沢徳洲会病院、三重大学医学部附属病院、九州大学医学部附属病院		

取得可能な専門医資格および技能

- 日本産科婦人科学会専門医
- 日本周産期新生児学会 周産期専門医(母体・胎児、新生児)
- 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医
- 日本産科婦人科内視鏡学会 婦人科内視鏡技術認定医
- 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医
- 日本生殖医学会 生殖医療専門医
- 日本内分泌学会 内分泌代謝専門医
- 日本胎児心臓超音波学会 胎児心臓超音波専門医
- 母体保護法指定医

上記以外にも含め、多岐にわたる分野の専門医資格が習得可能です。

プログラム達成目標

日本専門医機構産婦人科専門医資格に必要な症例はすべて本プログラムで全て経験できます。

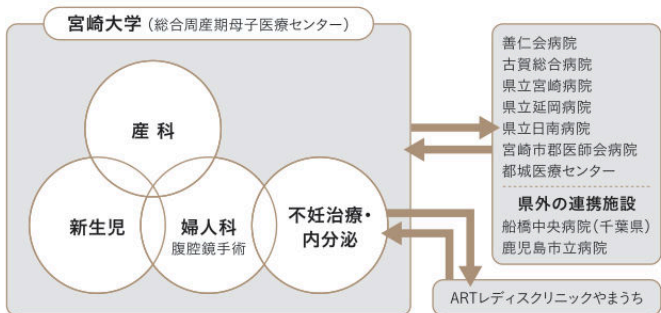
- 経腔分娩
- 帝王切開
- 前置胎盤/常位胎盤早期剥離
- 子宮内容除去術/子宮内膜全面掻爬
- 腔式手術
- 子宮付属器摘出術
- 単純子宮全摘術
- 浸潤がん手術
- 腹腔鏡下手術
- 不妊症治療
- 生殖補助医療における採卵・胚移植
- 思春期/更年期女性医学
- 内分泌療法

専門医取得までのタイムスケジュール

専攻医1年目は大学病院で産科、婦人科、新生児領域をローテーションし、各領域の基本的な知識と手技を身につけます。専攻医2～3年目は県内の関連施設(地域周産期センター)を中心に研修を行います。各施設では基礎的な多くの症例を経験することができます。またこの期間に経験した症例について全国学会での発表、論文の作成を行います。3年間の専門研修終了により、日本専門医機構産婦人科専門医認定試験の受験資格を取得します。

専攻医キャリアデザイン

宮崎大学を中心とした周産期医療の教育に加え、婦人科、生殖医療の研修が可能です。専攻医1年目は宮崎大学で2年目以降は宮崎県内の数か所の施設での研修を行います。



主要症例名と実績数

	症例	実績数
産科	経腔分娩	200
	帝王切開術	100
	選択的帝王切開/緊急帝王切開	
	合併症妊娠	50
	糖代謝異常、自己免疫疾患、甲状腺疾患、心疾患、悪性腫瘍など	
婦人科	産科合併症	50
	多胎・妊娠高血圧症候群・前置胎盤・胎盤早期剥離・胎児疾患など	
	悪性腫瘍手術	50
	広汎子宮全摘術・後腹膜および傍大動脈リンパ節郭清など	
	低侵襲手術	50
	腹腔鏡手術 ロボット支援下手術 子宮鏡手術など	
	腔式手術	20
	腔式子宮全摘術 子宮脱手術 子宮頸部円錐切除術 など	

指導医からのメッセージ

宮崎大学産婦人科講師 藤崎 碧 (2007年 香川大学卒)

「子育てをしながらできることがある」

私は宮崎市出身、香川大学卒、福岡での研修を経て、産婦人科になるなら宮崎に戻った方がいいだろうという先輩からの助言もあり、地元宮崎大学に入局しました。女性に関わりたい、という気持ちを強くしたのは研修医で産婦人科を研修してからです。どの先生も言われるかもしれませんが、生まれる前から新生児期～老年期まで、どのステージにおいても悩みに向き合いサポートできるのが産婦人科医だ、と働き出して改めて感じる事ができています。3人の子育てをしながらの勤務はなかなかハードですが、子育てをしているからこそ寄り添える悩みがあったり、痛みやつらさが同性だからわかってあげられるというのは自分の強みだと自負しています(笑)。私の場合、出産後も大学勤務を継続していたため、産婦人科専門医取得後に、周産期分野、腫瘍分野どちらも専門的に学ぶ機会を得ることができ、自分のペースでキャリアアップできています。診療もチーム制なので、突然の子供の発熱にも柔軟に対応できます。宮崎大学産婦人科には様々な働き方をしている女性医師がおり、将来のロールモデルになる先生がきっといるはずです。女性の強みを十分に発揮できる産婦人科医として、もちろん男性の先生も、女性を支える立場として、ぜひ一緒に働きましょう！

宮崎大学産婦人科助教・病棟医長 後藤 裕磨 (2013年 宮崎大学卒)

「日進月歩の婦人科腫瘍領域で力を発揮！
国内留学と育休を経験しています！！」

私は千葉県出身ですが、両親が宮崎出身という縁で、宮崎大学に入学しました。学生の時の実習で腹部外科に興味を持ち、消化器外科や産婦人科を考えていましたが、赤ちゃんの誕生と婦人科手術の両方に携われる産婦人科医になりたいと考えました。初期研修は地元に戻りたいと考え、千葉県がんセンターを基幹病院とする千葉県立病院群のプログラムで研修を行いました。がんセンターでの研修で腹腔鏡手術や婦人科腫瘍に対して大きな興味を持ちましたが、周産期領域の勉強もしっかりとしたいと思い、宮崎大学に入局しました。産婦人科医として働く中で、婦人科癌に対する治療を専門にやっていきたいという思いがより強くなりました。産婦人科専門医取得後に、初期研修を行っていた千葉県がんセンターの指導医にお声かけ頂き、国内留学の形で2年半修練を行いました。宮崎に戻ってからは、大学で婦人科癌を中心に診療しています。婦人科腫瘍領域では新しい薬剤がどんどん登場し、患者さんの予後を改善させることができています。また女性医学領域も含めて腹腔鏡やロボットのような低侵襲手術も広がってきています。手術をしたい人も内科的な治療をしたい人も大歓迎です。一緒にやりませんか？

お問い合わせ先

担当：平田 徹

T E L : 0985-85-0988
F A X : 0985-85-6149
e-mail : toru_hirata@med.miyazaki-u.ac.jp

週間スケジュール (宮崎大学医学部附属病院の例)

時間	月	火	水	木	金
朝	合同テレビ カンファレンス	周産期 カンファレンス	リサーチ カンファレンス		婦人科 カンファレンス
午前	病棟	手術/病棟	病棟	病棟	手術/病棟
午後	回診	手術/病棟	術前 カンファレンス	病棟	手術/病棟

先輩からのメッセージ

県立延岡病院勤務 安永 夏穂 (2020年 宮崎大学卒)

「産婦人科医を目指す先生方へ」

私が産婦人科医を目指すきっかけになったのは、学生実習の分娩でした。はじめて分娩に立ち会ったときは自分が産むわけでもないのに力がいりました。初期研修は大阪で勤務したあと、出身大学の宮崎に戻りました。初めての帝王切開では、妊婦さんが退院するときに、先生に手術してもらえたのよと写真と一緒に撮らせてもらいました。びくびくしながらの帝王切開で私なんか手術して大丈夫なのだろうかと思いながらだったので、ものすごく感動したことを覚えています。NICUで早産の児の蘇生をしたり、超音波をしたり、採血一つも緊張しています。婦人科では、手術、放射線、緩和ケア。がん患者との向き合い方、治療方法を学んでいます。産婦人科は、一般的に、夜呼ばれるよね・・・、いそがしそうだね・・・、と声を聞くことが多いです。でも、働いてみると、産婦人科より夜働いている科はいっぱいあります(笑)ただ、分娩は夜でも待ってくれないし、卵巣腫瘍茎捻転は痛くて朝まで待てなかつたりします。私たちが夜働くのは患者さんのためです。夜辛くても、その分やりがいにあふれているのが産婦人科だと私はおもいます。熱い情熱はなくても大丈夫です。少しでも興味があれば一緒に働いてみませんか？

ココに注目！

宮崎大学産婦人科准教授 土井 宏太郎 (2000年 鹿児島大学卒)

産婦人科は、人生のあらゆるステージに関わる唯一の診療科です。妊娠・出産というかけがえない瞬間を支えるだけでなく、思春期から老年期まで、女性の一生を通して健康と向き合います。次の世代へ繋ぐ、命のリレーを育む、そんなやりがいのある分野です。宮崎大学産婦人科は、決して大きな教室ではありません。最先端の設備や派手な実績よりも、「目の前の患者さんに誠実に向き合うこと」を大切にしてきました。派手さはなくとも、一人ひとりが日々の診療と学びを丁寧に積み重ねることで、地域に根ざした確かな医療を築いています。その積み重ねが、私たちの誇りであり、宮崎から世界に誇れる医療につながっています。私たちは、地域の女性とその家族が本当に必要としている医療を提供できる医師を育てたいと考えています。華やかな経歴よりも、誠実さと成長への意欲を大切にします。与えられた機会を一つひとつ大切にしながら、確かな力を身につけ、自分らしい道を見つけてください。私たちは、その一步一步を全力で応援します。宮崎にゆかりのある方も、そうでない方も、年齢や経歴は問いません。ここには、互いを尊重しながら学び合える温かな仲間がいます。ぜひ私たちと一緒に、産婦人科医としての第一歩を踏み出しましょう。そして、すべての女性とその家族の幸せな人生を支える医療を、共に創っていきましょう。

産婦人科HP

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/
home/obgyn/

